

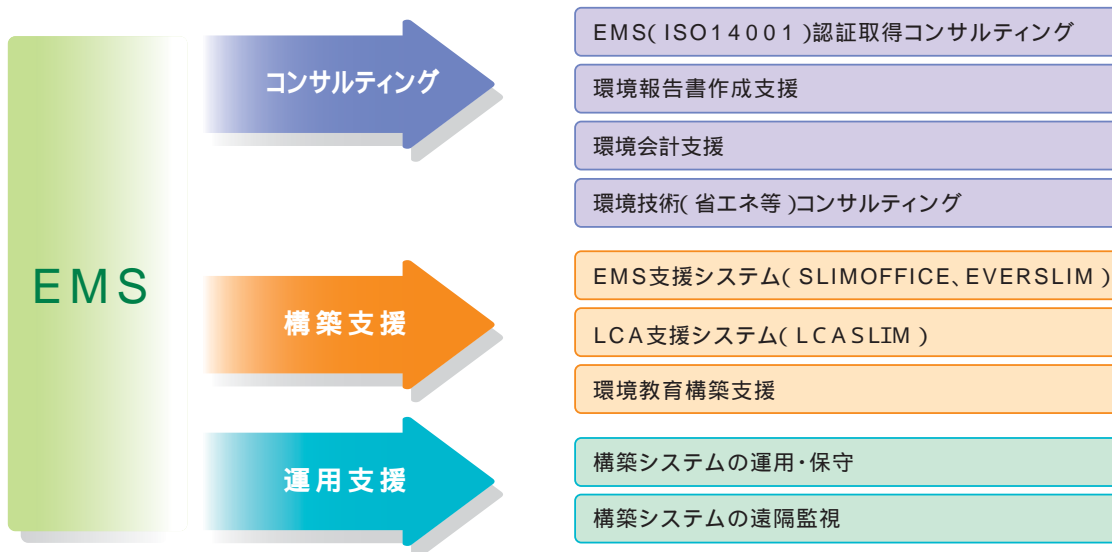
環境ソリューションサービス

❖ 企業の環境責任

企業活動においても省エネ化、省資源化、産業廃棄物の削減や適正管理、グリーン製品の購入、さらに環境配慮型製品開発、サービスの提供など、環境への取組みは企業経営の重要なファクターとなっており、様々な企業では、持続可能な発展に向けた「環境経営」に取り組んでいます。



富士通エフ・アイ・ピーは、このような企業の環境経営に対し、『環境経営ソリューション』として、以下のようなソリューションサービスを提供しております。



当社は、2000年度より、EMSの構築～ISO14001の認証取得コンサルティングサービスを開始しており、2003年度末で、国の機関を含めて数十以上の組織、百以上の事業所にてコンサルティングの実績を挙げ、EMSの活動を広げてまいりました。

当社のこの分野でのコンサルティングは、当社が提供するEMSツールとの連携コンサルティング、豊富な事例・雑型文書類のご提供、環境法令に関する情報のご提供、省エネ技術・生ごみ処理等の環境対策技術情報のご提供・ご相談等、環境環境対策など、様々なレベルでのソリューションを提供し、皆様のニーズにお応えしております。



事例紹介

EMS支援ツール SLIMOFFICE 導入事例

- 施設管理システムとの連携による環境管理 -

富士通株式会社 様

富士通ソリューションスクウェアは、富士通のソフト・サービスビジネスの新しい戦略拠点として、2003年11月27日に開設しました。本拠点は、『人とITが融合した新しいワークスタイルの実践』をコンセプトとしたもので、

お客様へのワンストップ・ソリューションの提供
ビジネスのスピード革新

「One FUJITSU」として、グローバルな
支援体制を確立

などに取り組む今後のソフト・サービスビジネスのグローバルなナレッジ・センターとして位置付けられ、お客様の事業のパートナーになることを目指しています。

敷地面積51,000m²、約4,000人の従業員が勤務する大規模な施設で、環境への配慮においても、建築材における解体コンクリート(廃材)の100%再利用、免震装置を利用した屋上緑化、空調・照明などによる省エネ対応など、様々な環境技術を取り入れ、地球環境と調和したオフィスビルを実現しています。

当社は環境パフォーマンスデータ記録管理システム「SLIMOFFICE」と、富士通グループ製品の施設管理システム「CAFME」、ビル管理システム「Futuric」と連携し、本施設向けの環境管理システムを構築しました。

このシステムの狙いは下記の3点です。

- 1) 富士通環境活動の全社展開、環境条例等の強化へ対応するための環境管理システムの対外モデル構築
- 2) 施設管理システムとの連携による環境パフォーマンスデータの自動収集、報告書作成等の作業効率化
- 3) 環境ISO活動状況の社員へのフィードバック

本システムにより、施設で使用される電気、ガス、水道などの環境パフォーマンスデータの自動収集・記録管理が可能となり、ユーザによるデータ手入力の手間や、環境ISO管理者の活動進捗管理の負担の軽減が期待されます。

また、各部署で報告に遅れが生じた場合の督促メールの自動送信機能や、当社の環境影響評価支援システム「EVERSLIM」とのデータ連携機能を併用することにより、環境マネジメントシステムの運用全般をより少ない人数で実現することが期待されます。



富士通ソリューションスクウェア



環境ソリューションサービス

20



お客様の声

地球環境と調和する技術開発を念頭においた研究開発活動

独立行政法人 産業技術総合研究所 四国センター 様

21世紀を迎えた今日、資源・エネルギーの枯渇や地球規模の環境問題など人類に共通する諸問題を解決しつつ、社会の持続的な発展を図ることが強く望まれています。

独立行政法人 産業技術総合研究所 理事長 吉川 弘之（以下「産総研」という）四国センター 所長 一條 久夫 では、地球環境の保全と人類の健康安全に資する研究を推進し、環境と調和し持続的発展の可能な社会の実現に向けて、体系的かつ総合的に研究開発を行っています。

特に「持続可能な循環型社会の実現に向けて」を旗印に、環境保全に資する研究課題を積極的に提案・実施し優れた成果を広く普及することに尽力しています。更に、業務を遂行するにあたって、研究所全体においてISO14001の認証取得を目指しています。

産総研は、2004年1月23日(金)に環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO14001(以下「ISO14001」という)についてKHK-ISO審査センター(高圧ガス保安協会)の審査を受け、認証取得しました。

産総研は、吉川理事長のもと「持続可能な循環型社会の実現に向けて」を旗印に、研究所全体においてISO14001の認証取得を目指しており、工業技術院時代に取得しているつくば東事業所(旧機械技術研究所)、2003年10月に認証取得した中部センターに続き、今回、四国センターが認証を取得しました。

産総研四国センターは、1994年7月に香川県が空港跡地に進めていた「香川インテリジェントパーク」に新築移転し、海洋に存在する有機・無機資源を有効に活用する技術開発を進めてきました。

2002年10月、健康で長寿命の社会実現のための予防診断技術創生を目指した単一分子生体ナノ計測研究ラボの立ち上げに当たり、地球環境と調和する技術開発を念頭に研究開発活動を進めるべく、今回のISO14001の認証取得を契機に、更に地球環境と調和する技術開発を念頭に研究開発活動を進めて参ります。



独立行政法人 産業技術総合研究所 四国センター



お客様の声

持続可能な環境経営に向け環境保全と社会貢献に努める

小里機材株式会社 様

当社は50余年にわたり、高い品質とそれを支える技術力をもとに、身の回りの家庭用電気製品やスペースシャトルにまで使用される産業機器や医療機器等に使用するゴム製品の製造を通し、今日のエレクトロニクスの発展に尽くしてまいりました。また、当社では、21世紀のグローバルな企業活動を推進すべく、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、環境負荷を極力低減し、全従業員をあげて環境の保全に努めています。

そこで私どもでは、当社の活動、製品、サービスを通して地球環境への負荷を最小限とする企業を目指し、2003年3月に東京葛飾本社・工場を始め相模工場、大垣工場、栃木工場、栗野工場の全国5サイトでISO14001の認証を一斉取得致しました。

今般、当社では、ISO14001の認証取得にあたり、富士通エフ・アイ・ピー株式会社殿が提供する環境経営トータル支援サービスの提供を受けました。これにより、限られた期間の中で効率的に認証を取得することができました。また、事業活動における環境影響を評価するための「EVERSLIM」と、全国に点在するサイトにおける環境保全活動の環境パフォーマンスを一元管理するための「SLIMOFFICE」のEMS支援パッケージシステムを導入致しました。

これら一連のサービスの提供をもとに、当社では総合的かつ客観的な分析・評価が可能となり、今後は、21世紀の持続可能な環境経営に向けた環境保全活動の着実な推進と、社会への貢献活動を積極的に展開してまいります。

小里機材株式会社
大橋常務様

小里機材株式会社 様

会社概要

代表取締役社長 藤井直行

売上高 55億円(平成16年6月期)

従業員 314名

事業内容

- 1)工業用ゴム成型品の製造
- 2)コンデンサ用封ゴム口の製造
- 3)コンプレッサー用防音カバー製造
- 4)ホース・ベルト等の製造/販売

事業所・工場

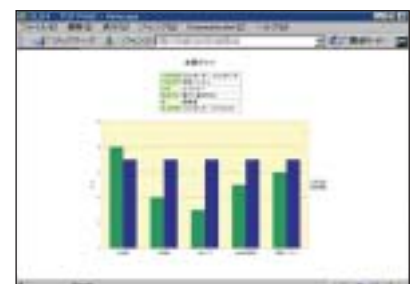
本社、葛飾工場、相模工場、大垣工場、
栃木工場、栗野工場、北関東営業所、
マレーシア工場、中国工場

2003年度開発のエコ商品

SLIMOFFICE グローバル版
(環境パフォーマンスデータ
記録管理システムのグローバル化)

環境に関連する実測値の管理はもちろんのこと、CO₂排出量換算・環境効果分析など環境会計・環境報告書の基礎資料として活用いただけます。

今回イントラネット型のパッケージとして、英語・中国語にも対応したグローバルな機能に強化いたしました。



販売先：民間企業様